

ごあいさつ



日立市は、東に太平洋を臨み、南北35kmに及ぶ海岸線には、古くから沿岸漁業の拠点が生息し、沿岸の地先海域の常磐沖は黒潮と親潮が交差する全国でも屈指の好漁場になっています。漁業の盛んな本市ですが、平成23年に発生した東日本大震災の影響により、水産業は大きな被害を受けました。こうした中、平成25年3月に震災からの復興を掲げた第1次となります日立市水産振興計画を策定し、水産業関係者の皆様から多大な御協力を賜りながら、様々な施策を推進してまいりました。しかしながら、水産業を取り巻く環境は、依然として漁業就業者の減少や高齢化による経営基盤の弱体化、そして漁獲量の減少や魚価の低迷など、多くの課題を抱えております。

折しも、国では、新たな資源管理体制への移行や漁場の有効利用を図るため、70年ぶりの漁業法改正が行われ、水産業は変革の時を迎えております。そのような中、第2次日立市水産振興計画策定に向け、漁業関係者のみならず、多くの分野から委員の皆様をお迎えし、前計画の成果を検証した上で、水産業と商工・観光分野の連携や魚食普及の推進等について、議論を重ねてまいりました。

本計画では、基本理念であります『豊かな海のめぐみを、未来につなぐ「ひたちの水産業」』のとおり、ひたちらしい水産業を後世につなぐため、幅広い施策を展開してまいりたいと考えております。

なお、施策の実現にあたっては、水産業関係者のほか、他産業に携わる多くの方々からも御協力をいただくとともに、各関係機関との連携や、市民の皆様の御参画が必要であると考えております。本市の水産業を未来につなぐため、皆様の御理解と御支援をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりまして、貴重な御意見・御提案をいただきました第2次日立市水産振興計画検討委員会の委員の皆様方をはじめ、アンケートやヒアリング等に御協力いただきました市民の皆様や事業者の皆様に、心からお礼を申し上げます。

平成31年3月

日立市長 小川 春樹